

現代貨幣理論 倉島 原

MMTとは何か—日本を救う反緊縮理論

「財務省が今、最も恐れる MMT。本書こそまさしく、その本格的入門書だ！」——藤井聡
(京都大学大学院教授・前内閣官房参与)

「貨幣」と「財政」の真実の姿を暴き出し、世界を揺るがせている経済理論・MMT (Modern Monetary Theory)。

2019年8月、待望の邦訳が刊行されたランダル・レイ『MMT 現代貨幣理論入門』の監訳者自らが、そのエッセンスを徹底解説。

誤解や憶測が飛び交う中で、果たしてその実態はいかなるものなのか？

根底の貨幣論から具体的な政策ビジョンまで、この本一冊で MMT の全貌が明らかに！

世界各国で議論を巻き起こす MMT (現代貨幣理論)。果たしてその実態はいかなるものなのか？ 根底の貨幣論から具体的な政策ビジョンまで、MMT の全貌を明らかにする。

【「TRC MARC」の商品解説】

「財務省が今、最も恐れる MMT。本書こそまさしく、その本格的入門書だ！」——藤井聡
(京都大学大学院教授・前内閣官房参与)

「貨幣」と「財政」の真実の姿を暴き出し、世界を揺るがせている経済理論・MMT (Modern Monetary Theory)。

2019年8月、待望の邦訳が刊行されたランダル・レイ『MMT 現代貨幣理論入門』の監訳者自らが、そのエッセンスを徹底解説。

誤解や憶測が飛び交う中で、果たしてその実態はいかなるものなのか？

根底の貨幣論から具体的な政策ビジョンまで、この本一冊で MMT の全貌が明らかに！

【目次】

はじめに

序章 MMT はなぜ注目されているのか

第一部 MMT の貨幣論

第一章 貨幣の本質

第二章 預金のメカニズム

第三章 主権通貨国における政府の機能

第二部 MMT の政策論

第四章 MMT の租税政策論

第五章 機能的財政論

第六章 就業保証プログラム

第三部 MMT から見た日本経済

第七章 日本は財政危機なのか

第八章 日本経済には何が必要なのか

第九章 民主主義はインフレを制御できるのか

おわりに——MMT をどのように生かすべきか

内容説明

いま、世界各国で議論を巻き起こすMMT（現代貨幣理論）。誤解や憶測が飛び交う中で、果たしてその実態はいかなるものなのか？根底の貨幣論から具体的な政策ビジョンまで、この本一冊でMMTの全貌が明らかに！

目次

MMTはなぜ注目されているのか

第1部 MMTの貨幣論（貨幣の本質；預金のメカニズム；主権通貨国における政府の機能）

第2部 MMTの政策論（MMTの租税政策論；機能的財政論；就業保証プログラム）

第3部 MMTから見た日本経済（日本は財政危機なのか；日本経済には何が必要なのか；民主主義はインフレを制御できるのか）

おわりに——MMTをどのように生かすべきか

著者等紹介

島倉原 [シマクラハジメ]

1974年、愛知県生まれ。経済評論家、株式会社クレディセゾン主任研究員。東京大学法学部卒業。株式会社アトリウム担当部長、セゾン投信株式会社取締役などを歴任。経済理論学会および景気循環学会会員。現在、京都大学大学院工学研究科博士課程（都市社会工学専攻）に在籍。会社勤務の傍ら、積極財政の重要性を訴える経済評論活動を行っている（本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです）
※書籍に掲載されている著者及び編者、訳者、監修者、イラストレーターなどの紹介情報です。

<https://www.facebook.com/yatsuhigata/photos/a.294033477346440/4337314973018250/?type=3>